

とがったびーなつ、聖夜の公演

『変革獣 くマツチ擦ればそこは夢見る禁猟区く』

作 富士ナツオ

【1】ハロー、キヨシ・コノ・コーポレーション

どこかのファンタジックな島国、ニッポニア・ニホン。パパがレミナに読み聞かせをしている。

パパ 昔々、トーキョー・トキョ都内の新宿区に、一匹のトナカイが暮らしていました。トナ

カイは、厳しい採用試験をなんとか潜り抜けた末、今年の秋にとある会社中途入社することになり・・・

キヨシ・コノ・コーポレーションの社員たちがハンドベルの演奏を始める。

レミナ パパ、パパ！

パパ ん？

レミナ 来た

パパ え？

レミナ ベル、ほら、ベル！

パパ 本当？・・・お、本当だ！今年も来たか

レミナ やったー！！来た来た来た来た！！クリスマス、やっと来たー！！

パパ レミナ、床ドンドンしない

レミナ 来たー！！

パパ 下の階の人怒るよ、レミナ

レミナ 来たー！！

パパ ・・・・来たー（床ドンドン）

レミナ もう、遅い！遅すぎるぞ。トナカイたちめ、さては忘れてたな？？

パパ 忘れてないでしょ。ぴったり24日の暗くなるころだ

レミナ でもでも、去年はもうちよつと早かったもん、もつと夕焼けの、暗くなる前

パパ そんなことないよ。ベルはあくまで時間通り。毎年毎年、きっちりかつちり決め

られた「この夜」なのさ。

レミナ そうなの？

パパ そうさ。なんてつつって

突然、キヨシ・コノ・コーポレーションのコマーシャルがはじまる。

社員1 西川きよし

社員2 横山やすし

社員3 氷川きよし

社員1 横山やすし

社員2 児玉きよし

社員3 横山やすし

社員1 ビートきよし。たぐさんのきよしの中のたった一日のきよし、この夜に、ハンドベルで世界中のクリスマスを呼び覚ます。それが
全員 キヨシ・コノ・コーポレーション♪キヨシ・コノ・コーポレーション♪
社員 わたしたち社員が、皆様の幸福なクリスマスを保証いたします！

部長、モニターの電源を切る。 12月10日。いつのまにかキヨシ・コノ・コーポレーションの社内になっている。

部長 いやあ何度見てもチープで安っぽい！

私が中小企業のイメージにぴったりのコマースヤルだ、素晴らしい
月間売上数も割と高かったですしね

メロ やすしこの夜はないんですか？

部長 やすしはいいの。横山ひとつで事足りてんだから。やすしにこの夜もあの夜もあつたもんじゃないの

メロ ふーん

ジョ まあ、このように、僕たちキヨシ・コノ・コーポレーションのトナカイは、クリスマスをお客様に届けることに全力を尽くしているわけなんだ。

部長 トナメロくん、入社時に聞いているかもしれないが、改めて説明しておこう。

うちの会社には全部で5つの部署がある。プレゼントのリクエストを聞く「プレゼント・リクエスト部」、プレゼントをガキどもの家に届ける「配達部」。ここが主にメインで動いていて・・・

メロ 配達部！メロが第一希望だったとこ

部長 あそこはたしか、先週から煙突侵入訓練の研修が始まってるな

ジョ はい、ススだらけのトナカイが山手線に乗っていたのでたぶんそうだと思います

メロ 煙突はサンタさんが入らないんですか？

ジョ いやいや、サンタクロースだよ？僕たちだって会ったことないんだから。煙突侵入はトナカイの仕事なの

メロ あ、じゃあこっちの部署でよかった。メイク崩れそうだし

部長 それから経理部。会社の金を扱うところ、あとは海外支部のネットワーク部。ここと密に連携をとらないと、海外にクリスマスが来ないから気を付けるように。

メロ そして、残るひとつが、この？

メロ ハンドベル部？

部長 そう。ハンドベル部。ハンドベルを鳴らす部だ。我がキヨシ・コノ・コーポレーションの最も重要で最も誇り高き部署といっても過言ではない。

ジョ さっきのコマーシャルみたいだね、毎年12月の夜にハンドベルを鳴らす。そう

して初めて、サンタクロースがイルミネーションの光を灯し・・・

メロ イルミネーション！メロ大好き！

ジョ 彼の力で作り出したプレゼントを、配達部が子供たちに届ける

部長 ここで覚えておくべきは、イルミネーションはただの色付きの光ではないということだ。12月25日限定のエネルギー源だ。

メロ この日だけは、風力発電でも、原子力発電でもない。イルミネーション発電に切り替わる

ジョ 街を彩る光はもちろん、電気ストーブ、テレビ、ラジオ、もひとつ言

えばひとつの活力にもイルミネーション電力が必要なんだ。つまり、ベルひとつで街ひとつ変わる

部長　はい！ということは？
メロ　ということは？

部長　我々がいなければクリスマスは来ない、サンタクロースも来ないということだ！！これは社内でもハンドベル適性試験に受かった、うちのチームのトナカイにしかできん、最高に危険で偉大な業務であるぞ

メロ　え、じゃあメロ選ばれたの？選ばれしメロなの？わーい

ジョ　あのさ、さつきから気になってただけど時々ため口だよね。

メロ　あー、なんか、敬語って、ちよつと距離ありません？

ジョ　あるよ距離。とるべき距離。先輩なんだから敬語は使わなきゃ……

メロ　えー？固いかたーい！ずっと思ってたんですけど、この会社、空気固い。

メロ　メロがそういう空気？変えていきたいなって思った、いま

ジョ　トナカザキ部長！

部長　なんだ！

ジョ　ぼくはもう耐えられませんか！今この場でエスカレーションさせていただきます！

部長　先ほどのこの態度。こういう新人がいるから、僕たちの世代がゆとりと呼ばれてしまうのです！ゆとり反対。ゆとりを野放しにしてはいけません！

ジョ　たしかに、ゆとりを野放しはよくないな

部長　野に放たれたトナカイを、いま、ここで仕留めてください

部長　そうだな。トナメロ君。君はやはりまだ学生気分が抜けていないようだから、一発ここで喝を入れねばなるまい。喝！

部長、トナジョージ、猟銃を構える。

メロ　かつ？メロ、かつ大好きです！恋活・婚活・朝活、パパ活、活全般大好きです！

ジョ　きみね……

メロ　入れちゃってよ。部長の活、ぶちよかつ、思いっきり入れちゃってよ。キャッ（愛嬌）

部長　よし！すがすがしい程の愛嬌の良さ！許す！

ジョ　ちよつと部長！

部長　トナジョージよ。見ただろう。やはり社会に出たら愛嬌は大事

ジョ　しかし……

部長　いいか、愛嬌というのは文明の利器であるぞ。そうだな？トナメロ君

メロ　あ、はい。あたし、北の大地に住んでるママから「三度の飯と共に愛嬌」だぞ、

メロ　言われました。だからそれだけはだれにも負けません。愛嬌、文明の利器です

部長　そうとも。武器を持つておくのは社会人として大事なことだ。

メロ　多いに活用したまえ

メロ　はーい

ジョ　いいんですか。猟銃に込めたあなたのカツ玉、不発に終わってしまいますよ

部長　いいんだよ。それにさ、私も毎日毎日同族狩るのはしんどいよ。出勤前の朝、玄関で猟銃に弾込めてさ、「ああ、今日も同族を狩らなきゃいけないのか。共喰いならぬ共狩りだよって。私が今やってることは、私が受けていたあの虐待と同じだよ」って。辛いよ。あの頃思い出しちゃって、心が苦しいんだよ

トナカミ、遅れて会議室に入ってくる。

カミ すいません！！会議室間違えちゃって、その・・・

部長、なんの迷いもなく猟銃でトナカミを撃つ。

部長 ダメだよ。社会に出たら言い訳しちゃダメだよ。社会人の常識だよ。トナカミ君
カミ ・・・・

部長 だいたい会議室間違えたとしてもこんなに遅れないだろう。以分経ってるよ
カミ ・・・・ちよつと、経理から急ぎのメールが来て・・・それで

部長、猟銃でトナカミを撃つ。

部長 ダメだよ。社会に出たら言い訳しちゃダメだよ。社会人の常識だよ。トナカミ君
カミ ・・・・すみません

部長 あと君、中途入社とはいえ社会出て2年目でしょ？

カミ そろそろ自分のタスクの優先順位くらいちゃんと建てられるようにしなさいよ

カミ タスク・・・？

部長 タスクわかんねえのか！？

メロ タスクは、お仕事のことですよ、えっと……

カミ トナカミです

メロ あ、そうそう、トナカミ先輩

部長 もうさ、呆れてものも言えないよ

カミ ……

部長 何がいらいらするって、その態度なのよ。オドオドオドオドオドオドオド。

トナカイたるもの、人間どもに負けない根性と気概が大事よ。入社前にさ、『猿の

惑星』DVD借りて見てくるように言っただしよ。あれよ。あの今まで人間に虐げられ

てきたサルたちが、幸福に暮らす権利を求めて、変革をもとめて立ち上がるあの感じ。

あの感じほしいのよ。本当にね、最近の若いトナカイは反骨精神が足りないよ。特に、

お前！

カミ はい

部長 俺は反骨精神のないやつが一番嫌いなんだよ

メロ よし！じゃ、メロ、その反骨精神、トナカミ先輩の分まで鍛えます！

部長 変革、起こしちゃいます！

お、いい心意気じゃないか。ではトナジョージ君、きみにトナメロ君の指導係を
頼もう

ジョ え、指導係！？

部長 うちの部署で優秀なのは私を除けば君だけじゃないか。反骨精神、早いうちから
しっかり叩き込んでよ

メロ 叩きこんどいてよ

ジョ いや待ってください。教育は大事ですが新人だからこそ、あえて人の手を借り
ずに、自らの考えでPDCAを行っていくことが大切なのではないでしょうか

部長 たしかにな、PDCA、大切だ。プラン、ドゥ、チェック、A、Aは……

メロ 愛嬌。メロ、愛嬌はもう完璧です！

部長 そうだよ。彼女愛嬌は自分でできてるんだから、すべて手取り足取りというわけ
じゃないだろう。残りのPとDとCを指導するだけの簡単なお仕事です
ジョ 簡単じゃないですよ…

部長 君自身の勉強にもなるだろう。じゃ、そういうことで。メリ・プレ・クリスマス
全員 メリ・プレ・クリスマス
部長 トナメロ君、歓迎ランチがまだだったな。何が良い？好きなものは？
メロ うーん、トンカツ、味噌カツ、串カツ、ひれカツ、カツ全般大好きです！
部長 よし、じゃあ向かいのビルのトンカツ屋だな

会議が終わる。部長、トナメロ、去る。部長、去り際にトナカミに無言のプレッシャーを加える。
トナカミ、トナジョージ、会議室の後片付けをする。

ジョ 甘いんだよ。あいつに甘すぎるよ、部長は。そもそもPDCAのAはアクションだろう？
カミ う、うん

ジョ 今日も盛大に狩られちゃったね、バーンって

カミ うん、ごめんね、遅刻しちゃって……。

ジョ 遅刻はダメだよ

カミ ……ごめん

ジョ ……次同じ失敗しないように、自分自身にフィードバックしてこ

カミ うん。ふいーどばつく、うん

ジョ まあでも逆に助かったっちゃ助かったかな。部長またいつもの話はじめたからさ。

カミ いつも？

ジョ ほら、あれ、若い頃サーカスで虐待されてたって話。

長いんだよね、あれ始まると。よかったよ。初恋の空中ブランコの子のくだりまでに君が来てくれて

カミ うん

ジョ あ、さっきのタスクのことだけど、プライオリティ、迷ってる感じ？

カミ え？えつと……

ジョ まあね、イシューが増えてくると、リスクヘッジも難しくなってくるしね

カミ あ、うん

ジョ でも、もつと積極的になってもいいと思うよ。個人が集団に依存する時代は終わったんだ。一人ひとりの「個」がスキームをシェアして、世間にオーソライズされていくことが、僕は一番重要だと思ってる。

カミ へえー……

ジョ もちろん、そのためにはよりクリアなグロースハックが必要になってくるけどさ。君も

カミ そう思わない？

ジョ うーん、そうだよ、僕もグロースハックはクリアなほうがいいと思う

ジョ だよ！え、じゃあ具体的には何のタスクに一番悩んでて、今うまくいてないの？

カミ 何、に？

ジョ うん、「何に」

カミ ……。

ジョ ……そうだよ、急に聞かれてもまとまらないよね。まあ、困ったことあったらまた話してよ。同期なんだからさ。

カミ 同期…っていうか…ぼく、中途入社だし……

ジョ 関係ないよ。あ、そうだ、来月同期飲みしようよ。リクエスト部の奴らにも声かけてさ

カミ いや、ぼくは、ちよつと……

ジョ　来月、夜明けといてね。じゃ、また午後から頑張ろう
カミ　うん、お疲れ

トナジョージ、去る。トナカミ、一人になる。ハエがわんわん飛んでいる音がする。
ハエを払おうとすればするほど羽音が強くなっていく。トナカミ、ついに自分の角を握って、直
角に折る。大きな音がする。

カミ　あー！ーっ！（絶叫）グロースハックってなんだー！ー！！

トナカミ、しばらく自分の心の闇を解放する。
舞台後方がレミナのおうちになる。パパが舞台に現れ、レミナに読み聞かせを始める。

パパ　可愛そうなトナカイ。さらに哀れなことに、こいつは二本の角のうち、片方の
角しか映えていませんでした。片角の、へんかくのそいつは、この、ニッポニア・
ニホンのストレス社会から逃れるために、己の角を繰り返し折ることで精神の安定
を図っていたのです

トナカミ、精神が安定してきたので、ゆっくりと角をもとの位置に戻し、デスクに戻る。

レミ　んー、もう、だめだめだめ！パパ全然へたくそ

パパ　え、ええ？

レミ　気持ちが全然こもってない！精神のあんていを図るとこ、ぜんぜん景色が浮かんで
こない！

パパ　ええー？そうかなあ。わかんないよ。パパだってがんばって読んでるよ

レミ　ママの方がずっと上手だもん

パパ　あっ、言ったな

レミ　ママ元気かな

パパ　元気だよ。この前電話したでしょ

レミ　電話だけじゃやだ。ママんとこ行きたい

パパ　無理だよ急には。飛行機で十何時間かかるんだから

レミ　いつ帰ってくる？

パパ　うーん、会社の都合によるからなあ

レミ　つごう？

パパ　そう、つごう。ママは絵がすごい上手だから、会社がママと一緒にお仕事し
たいって言ってる話、したでしょ。だから、会社がいいって言うまで、ママ、帰れ
ないんだよ

レミ　なにそれ、やだ。やだやだ！

パパ　とにかく、今は仕方がないんだから。お手紙で我慢しなさい。レミナは、も
う学校に行ってるんだから。お姉さんなんだから。我慢できるでしょ？ね？

レミ　うん……。

パパ　そんな顔しないの。

レミ　・・・・・。

パパ　ほら、もうすぐクリスマスなんだし

レミ　そうだ！クリスマス！ねえ、クリスマス、まだ？ねえねえ、あと何日？

パパ　あと二週間。もうすぐだよ

レミ 二週間もあるの！？もう、明日！明日クリスマス来て！

パパ 来ないよ。キヨシのベルが鳴らないと

レミ ちえー！キヨシのけち！キヨシのけち！

パパ あ、キヨシのリクエスト用紙、ちゃんと書いた？

レミ あ！

パパ ほら、プレゼントの締め切りきちやうから。サンタさんからのプレゼントも欲しいでしょ？

レミ ほしい！

パパ 何頼むの？

レミ うーん・・・内緒！

パパ えー、内緒？なんでよ、教えてよ

レミ だめ！内緒は内緒！パパにだって、絶対内緒なの！

【2】 ハンドベルの練習

キヨシの社員がならんでベルの練習をしている。

部長 そう、はじめに顔のそばに持っていく。そこから、こうだ。やってみろ
社員 はい

社員、ベルを鳴らす。

部長 トナカミ！遅い！しかも音ちがう！

カミ は、はい！

部長 怖いよ。お前。来週リハーサルだつつつたる。それ終わったらそこから一週間でクリスマス本番よ。もうこの時期にはある程度のクオリティ出しとかなきゃ間に合わねえだろが

メロ 部長！メロのパート、かわいくないからアレンジしてみたんですけど

部長 おお、聞かせてくれ

メロがベルを鳴らし始める。ドレス姿の少女が通り過ぎる。

少女 冬よ、冬。教えてよ。わたしにはなぜその力がないの？

カミ ……まだ。これ、まだだ。

少女 残ったのはこのなんの役にもたない力だけ……。これでいったいどうやって生きて行けっというの？

カミ ねえ、きみ、どうしたの、ねえ！

少女 お願いだから期待しないで。わたしは・・・できそこないなの！

カミ どうして、ここにいて、ねえってば！

部長 トナカミ！

カミ はーい！

メロ 聞いてました？話

カミ えっ

部長 いやあさすがゆとりだ。大事な業務中に上の空になるゆとりがあるんだろう。さすがだよ

カミ すみません。気をつけます……。

ジョ では、各自の追加パートの割り振りは、資料にまとめてあとで共有しますね

部長 うん、頼む。では諸君、メリ・プレ・クリスマス

社員 メリ・プレ・クリスマス

メロ はーお腹すいたーランチ行きましよ、ランチ

部長 お前、代休あとで出すから残業してでも練習しとけよ

カミ はい

部長 脅しじゃなく言う、下手な演奏したら給料減らすからな

カミ はい

トナカミ 以外、オフィスから出る。トナカミ、一人で残って練習する。ぶんぶんハエの音がする。

カミ はー、もうやだ！なんで！なんで！こんななんだ！こんな！片角のくそトナカイ！

こんなもの！くそ！くそ！

トナカミ、角を元に戻す。トナジョージが様子を見に来る。

カミ あれ・・・ランチいかないの

ジョ いいや、そんなお腹すいてないし。それより、体調大丈夫？

カミ え？

ジョ いや、さっきぼーつとしてたから

カミ あ、ごめん、あれは・・・最近、見えるから

ジョ 見える？

カミ 週に3回は見る。女の子、すごく苦しんでる、何かに

ジョ なにそれ。夢？

カミ 夢だと思ったんだ、最初は。でもなんだか違うんだ

ジョ なにが？

カミ 思い浮かぶんだ。勝手に。しかもはっきりと。

今、ここで、起きていることとは、違うものを見ている

んだ。だけど夢じゃない。目は開いているから。でも、開いてはいるけど、僕が見ているのは、決して僕の目で見えているわけじゃない。それだけはわかる。じゃあ一体何なんだろう。何なんだろうって思っ……

ジョ ？

カミ あ、ごめん、意味わかんない話してごめん。忘れて

ジョ なんてだよ、話してよ。もっと君のこといろいろ聞きたいよ。

数少ない、同期なんだからさ

カミ 君は、いいひとだね。とってもいい人だよ

ジョ おお、サンキュ

カミ でも……でも……

ジョ でも？

カミ ごめん、なんでもない。とにかく、本当に最近、無理なんだ、いろいろ……ごめん

ジョ うーん、そうか。まあとにかく調子が変わったと思ったら、無理せず言いなよ

カミ うん

ジョ お、そろそろ昼休終わるな。また午後からがんばるかー

カミ うん……

二人、去る。レミナ、キヨシのリクエストを書こうと部屋にやってくる。

レミナ パパ、キヨシのリクエスト用紙、どこ??

パパ (向こうの部屋から) 机のところに、ない?

レミナ、机の下からキヨシ・コノ・コーポレーション宛てのリクエスト用紙を見つける。
パパ、気になって見に来る。

レミ ええと、名前、レミナ。おんな。せいねんがつび、せいねん、ねいせんがつび…
いいや、あとでパパに聞こう。お家に煙突は(確かめる)・・・ついてないから、×
つと・・・。

で、で、ほしいプレゼント・・・。「ママ」がいいです、と。
やさしくて、かっこよくて、お料理が上手で、フロリダでデザイナーさんをしてい
る、わたしの大好きな「ママ」がいいです。前の12月から、ずっと、ずっと会え
ていません。サンタさんの力で、ママのお仕事が早く終わるようにしてください。
(紙をひこうきに折って飛ばし) 飛行機を、びゅんって、わたしのお家まで、飛ば
してください。サンタさん、絶対、絶対、よろしくおねがいします!

パパ、自室に戻る。レミナも去る。

【3】事件は朝礼で起こったよ

12月13日。キヨシ・コノ・コーポレーション、全体朝礼。ベル部だけでなく、リクエスト部や
配達部の内勤の人たちも集まっている。今日はハンドベル部が新曲をお披露目する日である。部
長、マイクを持っている。ベル部のみんなは舞台後ろでちよっと練習をしている。

部長 えー、みなさま、おはようございます。ハンドベル部のトナカザキでございます。
えー、まあリハーサルということだね、毎度毎度聞きなれてはいると思いますが、今年
もこの時期に、社員のみなさまに是非、聞いていただこうと思います

拍手。ベル部のトナカイが並ぶ。ハンドベルを持っている。

部長 それでは、聞いてください。ハンドベル部で、「やすしこの夜」

ハンドベルの演奏が始まる。曲の最後の音をトナカイが鳴らすが、鳴らない。

部長 えー、申し訳ありません、我々もリハーサルとはいえね、なかなか緊張してお
りまして。もう一度仕切り直させてください。では、さんはい

もう一度やるがやはり音はでない。社内がざわざわしはじめる。

部長 えーつとですね、ちよっとベルの調子が悪いようでした、ちよっとすみません
メロ 先輩大丈夫?メロのベル貸す?超いい音鳴るよ、ほら!ほら!(鳴らす)
ジヨ すみません、みなさまそのまま、少々お待ちください

部長、トナカミのベルを奪い取る。

部長　まあ、こういう場合はね、「鳴かぬなら鳴かせてみせようハンドベル」と申しまして、こう、ね！（鳴らない）えー、ちよつとご機嫌斜めなようで、ね！（鳴らない）ね！ね！ね！ね！ね！ね、ね、ね、ね（超高速）……トナカミいいいい！

部長、猟銃を取り出す。みんなも猟銃を構える。オープニングがはじまる。

レミナ、本を読みながら入ってくる。

レミ　さあ大変。哀れ片角のトナカイのベルから、音がなくなっていました！！
　　なんと鳴らせど、あの、最後の一言は鳴りません。クリスマスまでもうあと十日ほど！
　　さあ、みなさまもご一緒に探してください！ロスト・サウンド！お客様の座席の後ろ？いや、下に隠れてるかも。それかお尻に敷いてませんか？
　　いや、やはりもしかするとあなたの……。とがったびーなつ、聖夜の公演『変革獣

少女　：マツチ擦ればそこは夢見る禁猟区』

トナカミが撃たれ、目の前が真っ暗になる。

【4】ハンドベル部の緊急会議

12月14日。クリスマスまであと10日。トナカミ、オフィスの床で倒れている。頭の中で海の音がする。

少女がトナカミの頭の中に現れる。

少女　ああ、もう耐えられない。あの凍てつく冬の音は、私にとってはただの耳鳴り
カミ　……ねえ、ぼくはどうして、最近きみが見えるの？

少女　海が恋しい。アジアの果てに、ちゅらの海があるでしょう？

煌つく蒼の水面にちゅぷんと足を浸せば、首筋に、じんわりの汗……

カミ　え、なに、う、み？うみってなに？

少女　はっ！沖の方に鳴り物入りで波が来る。鳴りは鳴りでも、耳鳴りじゃない。

海鳴りだわ！

カミ　ねえ、聞いて。待って。君、だれ！？

トナカミ、跳び起きるが、少女はいなくなっている。ハンドベル部の社員がトナカミを取り囲んでいる。

部長　おはようトナカミ君残業お疲れ
カミ　あ、お、おはようございます！

部長　朝まで残業とは頑張るねえ。そんなに残業するということは、よほど大変なことがあったんだろうねえ。いったいぜんたいなにがあったんだろうねえ。そんな床まで散らかして。ねえ？

カミ すみません……あの、あれからずっと探してるんですが、まだ……

部長 社会出たら言い訳するなて！どうしてくれんだ、え？ただでさえ社内で騒ぎになつてんだよ、うちのチームがやらかしたつて。トナジョージ君

ジョ はい

部長 クリスマスまであと？

ジョ 十日です

部長 もし、その十日でベルから飛び出した音が見つからなかったら？

ジョ ハンドベルが演奏できません

部長 そうなるとクリスマスはどうなるのかな？トナカミ君

カミ クリスマスは……来ません

部長 そうだろう、そうだろう。「今年はクリスマスは無しです」。

イルミネーションはどこも点きませんので、真つ暗闇の中でお過ごしください。電気ストーブもテレビも、なにもかも動かないでしょう。

冷蔵庫も電気がつきませんから、中の七面鳥とケーキは腐りゆくでしょう。

そんな師走を走りぬいたらあとはお正月だけ。明けましておめでとうございます。今年もキヨシをよろしくお願いします」。

ええ！？そんなコマーシヤルだせてか！？んなことしてみろ！このハンドベル部、いや、下手すりゃこの中小企業自体が信用問題でつぶれっちまうぞ！！

カミ 本当にすみません

部長

それになにより！ここがつぶれたら私の血を吐くような努力が水の泡だ！！いいか、私は、あの掃き溜めみたいなサーカス小屋から命からがら脱走したんだよ。

毎日毎日、やれ玉乗りやれ、やれ火の輪くぐれつて。失敗するとこんな太い鞭で滅多打ちにしやがる、あの人間のくせに豚面の団長。あいつだけは絶対にゆるさん。

いつかあいつよりもっと出世して、あのサーカスを会社の経費で観にいつてやる。

シヨーが終わった後、あの豚面に言ってるんだ。「ああ、やっぱり人間のサービス業なんてしれたもんですね。一ミリも幸福になりませんでしたよ。それでは失礼、私はクリスマスに人を幸福にする業務があるのでね、チーン」つて。ベル鳴らすのよ。それだけを夢見て、脱走してからは干し草一束を朝昼夜の三食に小分けしてさ。

それちびちび食べながら週7でバイトしてたよ。若かったな。26の時だった。そんな生活続けて、なんとか面接受けてキヨシに就職して、やつと、やつとこのベル部の部長にまで昇進したんだよ。

その！その俺の泥水するような努力を水の泡にするつてのか！？

カミ ……。

部長 クビだな

カミ えっ

部長 会社で騒ぎおこしてるんだ、責任取ってもらわんと

カミ ……。

部長 もう、明日から来なくていいから

カミ ……わかりました

ジョ 待ってください

ジョ ン？

部長 いま、ここで彼を野に放つてよいのでしょうか？

ジョ というと？

部長 野生のトナカイは危険です。

何をしでかすか、わかったもんじゃありません。下手をすると、会社の機密情

報を・・・音がなくなったことを、明日にでも街の人たちにリークしてしまうかも

部長 たしかに、こいつならやりかねん

ジョ 今ならまだ、会社の人間以外、このことはだれも知りません。ひとまず社内に箝口令をして、クリスマスまでにこの問題をかたづけましょう。

もちろん、彼もいっしょに。それが、彼の一番適切な責任のとりかたかと

部長 ジョージ君、ジョージ君。やはり君は優秀だな。たしかに、クリスマス本番に音が間に合いさえすれば、一般市民には何の損害もない

ジョ はい

部長 それに最近の若いのはコンプライアンスにうるさいからな。野生に返して、ハラスメントだなんだと噛みつかれてはたまらん。いいだろう。

ひとまずクビは取り消しだ

カミ ……ありがとうございます

ジョ よし、時間もない。情報収集を急ごう

カミ うん

部長 で、徹夜の残業で、手掛かりの資料は見つかったのか？トナカミ君

カミ ええと……

部長 んんん……トナジョージ君！！

ジョ はい

部長 どんな音が覚えているか？

ジョ いやあ、かなりタイトなスケジュールで練習した楽曲なので……僕もどんな音

だったかは……

部長 うーん……

ジョ ドだったようなきもするし、ミだったような気もする。いや、ドとミの和音だった

かも。シャープやフラットがオポジションでついていた記憶もありますし……

部長 ドレミファソラシドの音階の中におとなしく潜伏しているとは

かぎらん。なんでもいい。なにか手掛かりは？手触りとか、匂いとか

メロ そもそも逃げたんですか？

二人 え？

メロ 逃げたとは限らないんじゃないですか？盗まれたかもしれないし

部長 いや音というのは「逃げる」のが相場つてもんだろうが

メロ えー、でもでも、メロ、昔お氣にのサマンサタバサのバッグ、映画館でなくしちや

つて。どこ探してもみつからなくて。メロ、サマンサちゃんに嫌われた！逃げられ

ちやった！って思っ、泣いちゃったの。でもあとで防犯カメラみたら、変なおじ

さんに盗まれて。だから、逃げたとは限らないんじゃないですか？

ジョ たしかに。そう考えると盗難事故、もしくは水難事故ということもあり得ます。

音ですから

部長 しかし水難となるともう我々では探しようが

メロ じゃあ代わりの音持つてくれば？

二人 え？

メロ 代わりの音。メロもそのサマンサタバサのバッグ盗まれちゃったから、プ

ラダのバッグ、パパに買ってもらったの。で、一件落着。だから、代わりの音が見

つかれば、一件落着じゃないですか

部長 素晴らしい！名案だ！トナメロ君、きみ愛嬌だけのアバズレかと思ってたが頭の

回転も良いじゃないか。来月初任給と一緒にボーナスをあげよう

メロ わーいパンケーキ食べよう

部長 よし、早速外まわり営業だ。音楽系の芸能事務所、楽器店、パチンコ屋、ヤマハ音楽教室。音を所有する企業にかたっぱしから営業しろ。音を融資してもらえ！

社員 はい！

部長 では諸君、すぐに準備を。メリ・プレ・クリスマス

社員 メリ・プレ・クリスマス

部長、去る。

ジョ しかし驚いたな。ベルから音がなくなるなんて、初めてのケースじゃないかな
カミ ほんとに、ごめん。ほんとに……。

ジョ 謝る暇があつたら、このミスをどう取り返すか考える。偉大な起業家の人たちは、どこで誠意をみせるかをちゃんとわかつてた人たちだ。僕たちもそれに習おうよ

カミ ……うん

メロ わかった！

二人 ？

メロ 愛嬌。トナカミ先輩、愛嬌足りないんだ！

カミ え？

メロ なんでこの人、こんなに怒られちゃうんだろうって、メロずつと思ってたんですよ
ねえ。愛嬌ですよ。やつぱり

カミ そ、そうですか、はは

メロ ほら、いまの。心から笑ってない。もっと明るく、ニコニコしてなきや

カミ そういうの、あんまり、得意じゃないっていうか

メロ ダメですよ！社会に出たら、愛嬌ですよ。だからクビとか言われちゃうんですよ

カミ うーん・・・うーん

メロ ていうか、トナカミさんて、2年目だけどいろいろ知ってるわけじゃないんですね。
愛嬌、常識ですよ。社会人の、常識ですよ

トナカミの周りでハエの音がする。爆発寸前である。手が角に伸びる。

ジョ それ、ちよつと違うと思うよ

メロ え？

ジョ たしかに愛嬌は大切だ。だけど、それはきっちり仕事した上でのことだろ。

メロ でもメロ、さっきよくできたって、部長にほめられたもん

ジョ そうだね。でも君にはもつと大切なことが欠けてるよ

メロ 大切なこと？えー、なにになに？

ジョ それは自分で考えなよ。社会人なんだからさ

メロ ……はい

部長 トナメロくん！ちよつと！

メロ はい、なんですか？あつ、もしかしてぶちよかつですか！？入れちゃってください。
さい。朝活・恋活・味噌カツ・ぶちよかつ、思いっきり入れちゃってください。

キャツ（愛嬌）

トナメロ、去る。

ジョ どうしよう、トナカイのくせにじゃや馬すぎて、扱いわかんないって。
なにが愛嬌は常識だよ。なんでもかんでも愛嬌ってわけじゃないんだよ、この社会はさ
カミ ごめん・・・かばってもらっちゃって、部長の時も・・・
ジョ かばうなんて、そんな大げさなことしてないよ。自分の意見を言っただけさ
カミ トナジョー君は、なんでそんなに僕を助けてくれるの？
ジョ 同期だからね
カミ 同期ってこと、そんなに大事な
ジョ 大事だよ。この社会の荒波にのまれても、同期がいれば平気だからね
カミ そういう、もんかなあ
ジョ そういうもんだよ。だからさっき部長に帰って言われても帰ったりしなかったんだろ？
カミ ……うん、さつき、わかりましたって、今日で辞めますって言おうとした
ジョ ええ？なんで
カミ だってだめだよ。このチームはね、第二次世界大戦がはじまる前の1935年から
ベル鳴らしてるんだ。戦争の時も、地震の時も、みんなを少しでもハッピーしよ
うってさ・・・。64年のトキョ・オリンピックの年には、オリンピックバージョン
にメロディを少し変えたりして、サプライズにしたり、あ、初代のサンタ
の頃は、トナカイは一行に並ぶんじゃないくて、輪になって演奏したんだよね。
クリスマス、あの、リースになぞらえて・・・
ジョ へえ
カミ あー、えっと、つまり、なにが言いたかったかというと、すごく歴史のある、大切な
儀式なんだ。だから、僕みたいなやつがこれ以上関わっちゃだめなんだ
ジョ よく知ってるね
カミ えっ？
ジョ それ、僕らの代だとかなかなか知らないことだよ。僕は父親から聞いたけど
カミ あ、リクエスト部に勤めてたっていう
ジョ うん。父が言ってたよ。最近の若手の社員は会社の歴史や功績のことを知らなすぎ
るって。仕事に対して誇りがなくて、嘆いてたよ
カミ 僕も、そう思う。僕たちのクリスマスの思い出はさ、キヨシと、サンタクロースの繋い
できた思いがくれたプレゼントなんだと思う。だから、ぼくも大人になったら、いちトナ
カイとして、クリスマスを呼ぶ仕事につけたらって・・・それで、いつかサンタさんに会
って、お礼が言えたらって、思ってたんだけど・・・
ジョ ほらね、やつぱり
カミ えっ？
ジョ 君にはちゃんと志があるんじゃないか。
カミ ころざしかな・・・あれ
ジョ 志だよ。アンビシヤスだよ。自分でそう思わなくてどうするのさ。
カミ 口で言ってるだけだけだね。実際は、なんにもできてないし
ジョ これからだ。スタートラインには立ってるんだから。
カミ そこから、どう動くかだよ。PDCA, 愛嬌ではなく、アクション。態度だけじゃ
なく、行動が大事だよ。
カミ 行動・・・アクション・・・
ジョ そう。アクション。アクションの、積み重ねだよ。
カミ うん、そうだね、アクション。アクション積み重ねて、グロースハック、してこ！
ジョ ……

カミ 使い方間違えた？
ジョ いや、合ってるよ。グロースハック。グロースハックしてこ！

【5】鬼の外回り営業とマッチの少女

12月15日。クリスマスまであと9日。

部長 皆の者！いいか、この大都会の寒空の下、足が氷漬けになっても走り回れ！
必ず代わりとなる音を見つけれ！

社員 はい！

部長 名刺の向きは！

社員 相手の方に向ける！

部長 営業先には！

社員 常に10分前にはついておく！

部長 いいぞ、その調子だ！その2本脚でこのトーキョー・トキヨを駆けずりまわれ！
ではそれぞれ位置について、よいい、どん！

それぞれの外回り営業が始まる。ジョージとトナカミがいったん再集合する。

ジョ トナカミ、そっちはどうだ

カミ 今、A社とB社と交渉してるけど、なかなか・・・

ジョ そうか

カミ でも、アクション、アクションの積み重ねだから、あきらめずにいこう

ジョ そうだな、あきらめずにいこう（あつい拳のやりとり）

メロ こんにちは、キヨシコノコーポレーションのトナメロです！え、メロ？メロがアイドル？

ジョ どうしよっかなー、センターになれるんだったら、所属してもいいかなー

ジョ ったく、どうしようもないな、あいつは

カミ ほんと、なにが愛嬌だよ

二人 こらー！ちゃんと仕事しろ！

走り出し、再び営業に奔走する三人。営業活動を終えて部長のもとへ。

部長 どうだ、代わりの音は手に入ったか！？

ジョ いえ・・・そもそもこちらの事情が機密事項で説明できず・・・ただただ怪しまれてしまいま
す

部長 そうか・・・想像以上に厳しいな。お前は

カミ 巢鴨の歌声喫茶にいきました。あとは五反田のひとカラ専門店

部長 五反田のパチスロは？

カミ パチスロ？

部長 行ってねえのか！！パチスロなんて音のオンパレードだろうが！

パレードし過ぎて音大渋滞してんだろが！！

カミ はいしてます

部長 お前パチスロ行け。スロット、ずらっと、そろったら、出てくんだよ。音の粒が
よ。ジャラジャラーっつとよ。そんなに、きつと代わりの音が埋もれてるはずだ。

銀色だ。ぎんぎらぎんの音の粒、もらって来い

カミ もらえなかったら・・・

部長 もらえなかったらじゃねえ！本当そういうところ。本当そういうところ。

そういうところが反骨精神がないって言ってるんだよ。なんとかしてもらってくんだよ。もうこの際、狩りだ。

ずきゅんばきゅんと撃ち落としても手にいれるんだよ、そのぐらい切羽詰まってるのがわからねえのか！

カミ わかります！

部長 じゃあはよ行け！みんなも！引き続き他を当たれ！！

社員 はい！

社員、解散する。トナカミ以外いなくなる。トナカミ、パチスロ屋へ向かい走り続ける。

カミ なんだっけ、ぎんぎらぎん。ぎんぎらぎん。ぎんぎらぎんにさりげなく、さりげなく、さりげない、さりげないおと。

何かが目の前で光る。

カミ ほんのり、さりげないひかり。いや、ひかりじゃない？さりげないから、音かもしれない。いや、そうだよ。あれだ。きっとそうだ。あれだよ。

光が遠くへ行ってしまうそうになる。

カミ あっ、ちよつと、待って！！

トナカミ、銃を撃つ。マツチ売りの少女が倒れこんでくる。

カミ やった！・・・えっ？

少女 ・・・・

カミ はっ！へっ（脈図る）、脈がない！うそ、もしかして

少女の反応がない。

カミ どうしよう、どうしよう。人間を狩ってしまった。にんげん、にんげん！

トナカイが、人間、狩っちゃったー！どうしよう、猿の惑星・・・いや、トナカイの惑星だこれ

ねえ、脈の場所、間違えてるわよ

少女 あーああ（変な声）

少女 正しい脈の位置は、ここ。手の付け根から、親指一個分、下

カミ そ、そうなんだ。ごめんなさい、てつきり、音だと思って・・・あれ？

少女 音？

カミ え！君、ちよつと待って、あの子だ！あの女の子だ！

少女 なに？

カミ そうだよ、絶対そうだよ。服は、ちがうけど・・・そう、そんな顔だったもんねえ、待って。なんの話？

カミ きみ、僕の頭の中に浮かぶひとだよね

少女 浮かぶ人だよねって言われても、知らないわ

カミ いつも浮かんでくるんだよ。話しかけても返事はないけど。今日はドレスじゃないの？あれもとっても素敵だと思うけど・・・それと、あの、う、み、だっけ、あれはなんのことなの？人間の食べ物か何か？ねえ、ねえ

少女 いや、ちよっと、ほんとに待って！

カミ あ、ごめん

少女 わたし、知らない。あなたにも会ったことないし、そんな服着たことない。生

まれてこの方、ずっとこのボロ服よ

カミ ほんとに？

少女 ほんとよ。

カミ ・・・・そっか。人違いか。ごめんなさい、違うのに、わーって

少女、倒れた際に落とした荷物を拾い始める。

カミ あ、ねえ

少女 ？

カミ きみ、さっき、光ってなかった？

少女 えっ？

カミ ぼく、それみて、音だと思って、それで・・・

少女 光ってたら、音なの？

カミ そう。ぎんぎらぎんの光の音。探してるんだ。クリスマスの、音

少女 クリスマス・・・

カミ そう。見つけなきゃ。アクション、起こさなきゃ。アクション、積み重ねてグロースハ

ックしたいんだ、ちゃんと

少女 ・・・・

カミ それに見つからなかったらサンタさんが・・・あ、サンタさん、会ったことある？？

少女 ないわ

カミ そうだよね。ぼくも、ずーっと会いたくて。だから今の会社に入って・・・

少女 クリスマスの話はやめてよ

カミ え？

少女 あと残念だけどさっきのは音じゃないわ。火よ。マッチの、火

カミ マッチ？

少女 そう。作ってるの

カミ きみが？

少女 そう、その工房で

カミ へえーっすごいね！マッチ作れるなんて

少女 全然すごくないわよ。マッチ作れるなんて

少女、工房へと帰ろうとする。

カミ どこいくの

少女 工房。材料はある程度集まったから

カミ そっか。あ、そうだ、パチスロは？

少女 え？

カミ パチスロ、どこ？
少女 ……わたし、賭け事やるひと、嫌いな。じゃ
カミ ……。

少女、リュックを背負いなおして歩き出す。それを見つめるトナカイ。本能により、トナカミがついてくる。少女、トナカミをまこうとするが、だんだん本気の追いかけっこになる。

少女 ねえ、なんでついてくるの

カミ だって、重くない？それ

少女 おもいわよ

カミ 運ぶよ、僕が

少女 え？

カミ 重いもの持つてるのを見ると、助けなくなっちゃうんだよ

少女 親切にどうもありがとう。でも、ひとりで：

カミ そんなじゃないよ。そんなやさしい動物じゃないよ、僕。

荷物、運びなくなっちゃうんだよ。なんだろう、本能なんだ、本能。あ、やばい、運びたいなー、どうしても、運びたいなー、どうしよう、運びたい、運びたい、背中に乗せて、運びたい、届けたい、あー、あー、運んで届けたい！
わ、わかったわよ。怖いからやめてよ

少女 ごめん

カミ はい、じゃあ、これ

カミ ありがとう。配達先は？

少女 ……工房。森の奥の、工房まで

舞台が工房の中に変わっている。トナカミ、少女の荷物の中のマッチを見つめる。

カミ ねえ、これ本当に君が作ったの？

少女 そうよ

カミ すごい・・・付けてみていい？

少女 まだダメよ。頭の部分の油分が足りないから。貸して

少女、仕上げ作業に入る。指を噛んで、血をつける。

カミ こだわりがあるんだね。職人さんみたい

カミ ほんとね。こんな人里離れた森の奥で…ただの職人ね

カミ 職人、すごいよ。匠だよ。たくみ

少女 できた

少女、マッチを試しに擦る。トナカミ、飛びのく。

少女 なに？

カミ あ、いや、ごめん、本能ってやつだよ。動物の本能。

少女 大丈夫よ。（火を見て）うん、よく点いてる

カミ ねえ、なにか、見えるよ

少女 そうよ、見えるの

カミ いや、違うな。見えてるんじゃない。

今、ここで、起きていることとは、違うものが見えているんだ。目は開いているから。あれ、でも、開いてはいるけど、僕が見ているのは、決して僕の目で見えているわけじゃない。……あの時と同じだ！

少女 あの時？

カミ あの時、君が出てきたときだよ。

少女 だから、それは私じゃないって。勘違いよ

カミ そうなのかなあ

少女 でも、いま、何かが見えているというのは、あなたの勘違いじゃないわ

カミ えっ？

少女 そういう、マツチなの。一本擦ると思考の煙、二本擦ると燃え上がり、三本擦るとあなたの脳は立派な映写機になる。

カミ うん

少女 つまり、あなたの頭のカメラが、いま、このとき、このときでないものを上映しているの

カミ すごいよ

少女 え？

カミ それって、すごいことだよ！！だって、自分の想像するものが、マツチのなかに、はつきりくつきり浮かび上がるってことでしょ？大発明だよ！エジソンよりすごいよ

少女 そんな…

カミ ね、一本だけ、擦ってもいい？一本だけ

少女 いいわよ。一本でも、何本でも

少女、 トナカミにマツチを渡す。トナカミ、それを一本擦る。

カミ なに見える？

少女 さあ、なんでしよう

カミ え、見えてない？

少女 見えてるわ。でも、わたしには別のものが見えてるの。想像は、その人だけのものだから

カミ あ、そうか。僕にはね、ノルウェーの、寒冷地帯の、崖が見えるよ

少女 がけ？

高原の乾いた風の音がする。

カミ 寒い。でも、いい寒さなんだ。カラッとした、北欧の 寒さ。草が生えてる。少し伸びているからさく、さくって踏み分けて・・・どんどん上にのぼるんだ。

上に、一番乗りで着いたら・・・ああ、おばあちゃんだ

少女 おばあちゃん？

カミ トナナコおばあちゃん。ノルウェーの高原の、僕たちの群れの中の一匹さ。

少女 トナカイにも、おばあちゃんがいるのね

カミ 僕が、こんな姿で生まれてしまったのに、片っぽしか、角がないのに、こんな僕にも、とってもやさしいおばあちゃんだったんだ

少女 そう

カミ ……寒い。でも、いい寒さなんだ。カラッとした、北欧の寒さ

少女、火をみつめる。蟬の鳴く声がする。

少女 暑い。でも、いい暑さね。東京の暑さとは全然違う、カラッとした、熱さ
カミ きみ、いま、暑いって言った？

少女 言ったわ

カミ きみには、暑いものが、見えてるんだね

少女 そうよ

カミ お暑いのが、お好き？

少女 暑いのか、夏が好きなの。夏は、なにかも忘れさせてくれる
カミ 草が生えてる。少し伸びているからさく、さくって踏み分けて・・・

少女 どんどん上にのぼるんだ。上に、一番乗りで着いたら・・・ああ、おばあちゃんだ
蟬と、波の音が聞こえる。海が恋しい。アジアの果てに、ちゅらの海があるでしょ

う？煌つく蒼の水面にちやぶんと足を浸せば、首筋に、じんわりの汗・・・

わたし、好きよ。夏が好き。ウミネコの、海鳴く声。お願いよ、連れてって。私を、
この冬の呪いから解放してよ！

冬の高原の風の音と、沖縄の夏の蟬の鳴き声が入り混じっていく。ここはいったいどこなのか。
二人のマッチの火が消える。

カミ あ、消えちゃった・・・

少女 マッチだもの、消えるわよ

カミ いいなあ……これ、いくらなの？

少女 えっ？

カミ 買う、買うよ、これ

少女 売るほどのものじゃないわよ、欲しかったら、あげるし

カミ だめだよ。もったいないよ。価値があるものなんだから。僕はちゃんと買いたい

少女 価値

カミ そう、価値。そうだ、これ街に出て販売しなよ。絶対売れる

少女 別に・・・お金には困ってないし・・・

カミ お金じゃ、ないよ。価値のあるものだから、もっとみんなに知ってもらうために、
言ってるの

少女 そんなこと、考えもしなかった

カミ ね、だまされたとおもって、街に出てみてよ。

少女 ……そんなに言うなら・・・

カミ やった！良かった。なんか久しぶりに、テンションあがっちゃった、ありがとう

少女 うん、わたしも、久しぶりに、ありがとうって言われた、ありがとう

カミ (まどのカーテンの色が夕暮れに染まるのをみて) あっ！！

少女 ？

カミ (カーテンを開けて) もう夕暮れだ・・・どうしよう・・・クリスマスの日がもうすぐ来
ちゃう！

少女 あ、ねえ

カミ マッチ、見せてくれてありがとう！また来るよ！

少女 名前・・・

カミ トナカミ、トナカイの、トナカミ。

少女 トナカミくん

カミ きみは？

少女 わたし、わたしの名前は・・・

少女、マツチを見つめる。

【6】マツチ売りの少女、繁盛

トキヨ。シンジユクのとある公園。少女がマツチを売りにやってくる。

レミナのクラスのあーちゃん、みーちゃん、しーちゃんがドッジボールで遊んでいる。それを陰から除くレミナ。

パパ ほら、やっぱり、あーちゃんたちだ

レミ パパ、静かにして！大きな声出さないで！！

パパ レミナのクラスの子でしょ。ほら、遊んできなよ！

レミ いいの！今日はいいの！

パパ なんだ。レミナが入れば2対2でちょうどいいだろ！ほら！

レミナ、パパに押されて前に出る。あーちゃんたち、レミナを一瞥するがすぐにドッジを再開する。レミナ、すぐに引き返す。

パパ えっ、どうしたの

レミ だからいいって言ったのに！！

パパ ちよつと待って、パパよくわかんないよ。みんなとケンカしたの

レミ してないよ！できるわけないじゃん！

パパ なんだ

レミ そもそも話したことないんだから！！

パパ え、でも

レミ もういいから！パパ、バカじゃないの！？

パパ レミナ、おい！

レミ 帰る！！ついてこないで！！

レミナ、帰る。

少女 マツチ、マツチはいりませんか・・・。あなたの脳の電気信号を、ともしびに変

える優れものです

みー あーちゃん！マツチ、マツチ売ってるよ、このご時世に！

あー ウチは電気ストーブで間に合ってるから、いらないよ、みーちゃん

しー でも、電気信号、気になるね。マツチから、電気信号、きになるね

あー うーん、しーちゃんがそんなに言うなら、見てみようか

全員 すいませーん

少女 はい

しー 電気信号のマツチ、どんなマツチですか？

少女 マツチするとマツチから電気信号があなたの脳に飛びます。その脳内に飛んだ電

気信号が、あなたの前頭葉に作用して、ハイビジョンのともし火を、眼前に映

あー　　し出します。サイズは大体、4Kのフルスクリーンです
なるほど。よくわかりません

みー　　おいくら？

少女　　一箱20本入りで、税込み千と250円になります

あー　　げーっ、高！やめとこう

しー　　たしかに、マッチで千円札あげるのは、惜しいなあ。小学生に夏目漱石はハ

ドル高し

みー　　お姉さん、ごめんなさい、やめときます

あー　　しーちゃん、向こうの公園でドッジしようぜ

少女　　ま、待って！お試し、しませんか？お試しだけでいいから

子供達　（顔を見合わせる）

少女　　こちら、サンプルになります

少女、マッチをあーちゃんたちに手渡す。

少女　　箱のざらざらしたところで、こう、シュツて擦ってみて

あー　　ええ？こう？

子供たち、マッチを一本擦る。視界が変わる。

全員　　う、う、うわーっ！！すげー！！！！

あー　　見て、ゴーカートだ！高島屋の、屋上遊園地だ！

みー　　違うよ！ポケモンだよ！ほんとに、ほんとに、ポケモンGOだ！

しー　　漢字ドリル。すべて解答された漢字ドリル

火が消える。マッチ売りの少女、使い終わったマッチを回収する。

あー　　す、すげー、すげーや！欲しい！ひと箱ください！

みー　　あーちゃん、あんなに高い高いって言ってたのに

あー　　いや、このマッチなら、諭吉渡したってかまわないよ

しー　　げんきんだなあ

みー　　じゃあ、あーちゃんの現金払いで

あー　　はい！ゆきち！

子供たち、支払いをすませる。

少女　　安全に、使ってね

子供　　はーい！お姉さん、ありがとう！

子供たちがいなくなつて、マッチ売りが片付けの準備をしている。様子を遠くから見ていたレミナが現れる。

レミ　　あの・・・

少女　　はい

レミ　　マッチ、まだ売ってますか

少女 あ、はい

レミ ひと箱、ください

少女 はい、ひと箱千と250円になります

レミ あ．．．．．

少女 どうしたの？

レミ えっと．．．

パパが現れる。

レミ ．．．．．

パパ 大きいのしかないんですけど、大丈夫ですか

少女 あ、はい、おつりは出せますので

パパ、支払いを済ませる。

少女 安全に使ってね

レミナ、少女からマッチを受け取り、火を点ける。

二人 うわー！

パパ きれいだなあ

二人 なにが、見える？

二人 ．．．．．

少女 パパ、さつきは、ごめんね、怒っちゃって

パパ いいよ

少女 いいの？

パパ よくはないよ。でも、「ごめんね」って言わなきゃいけないことだって、わかってくれたんなら、それでいんだよ

少女 うん。パパ、ありがとう

パパ うん

少女 お金

パパ そっち？

パパとレミナ、帰っていく。少女、二人の姿を見届け、工房へ戻る。

【7】トナジョージの裏切り？とマッチの安らぎ

12月20日。キヨシ・コノ・コーポレーションのオフィス。トナカミ、戻ってくる。

カミ お疲れ！

ジョ お疲れ様

カミ あれ、部長は

メロ いま、外出中です。

カミ そつか。あ、ジョージ君この前、森でね・・・
ジョ メロ、音のデータのファイル、99年の分、なかったけ
メロ ああ、それね、それなら資料室じゃないかな
ジョ ああ、そうか
メロ あとでメロが探しとくね
ジョ いいよ、そんなことしなくて。僕がやる
メロ ううん、メロが探したいから、探すの。アクション、アクションしたいから、探すの
ジョ わかった。ありがとう
カミ あ、あのさ！
メロ ？
カミ もうやめなよ。
メロ なにがですか？
カミ ため口。トナジョージ君は先輩なんだからさ。僕にため口なのは100歩譲ってしょうがないとして、トナジョージ君はいいトナカイなんだから敬語で話しなよえー、いいじゃないですか、別に。メロたち付き合ってるんだから
メロ ……え？
メロ だから、彼氏彼女なんだから、ため口でもいいじゃないですか
カミ ……ほんとに？ほんとに、付き合ってるの？
ジョ ああ、そうか、最近外回りの営業で顔合わせてなかったから、言ってなかったね。まあ、そういうことなんだ。僕たち
カミ ……へえ……そうなんだ
メロ ジョージ、メロ資料室行ってきます！（投げキッス）
ジョ メロ、行つてらっしゃい（投げキッス）

トナメロ、去る。

ジョ どうしたの？まだ、体調、悪い？
カミ いや……こう、理解がおいついてなくて。仲、悪いと思ってたから、二人最初はね。なんだこの子って思ってたんだけど。深く話してみると、実はいろいろ考えてて、良い子なんだよ。愛嬌あるし
カミ へえ
ジョ 指導係も、結果的にはなってよかったかな
カミ そっか
ジョ ああ、でも、そんな気は使わないでね。いままで通り、3人で頑張ろう。
カミ 音探しも、そろそろ本当に間に合わなくなっちゃうしさ
ジョ だったら、さっきみたいのはよくないと思う
カミ え？
カミ 彼氏彼女でもさ、仕事なんだから、ため口はやめたほうがいいと思う
ジョ （少し考えて）うん。そうだね。君の言うとおりだ。社内恋愛、節度が大事だもんね。メロにも言っとくよ。
カミ いや、社内恋愛自体、だめなんじゃない？会社は、真剣な場所なんだからさ
ジョ そう、僕もついこの間までそう思ってたんだよ。でも、気づいたんだ。そういうステレオタイプは、時に人間、いや、トナカイのグロースハックを妨げるって
カミ ……

ジョ 不思議だよ。あの子を見ると、自分ももう少し視野をひろげたほうがいいんじゃないかって気になるんだ。愛嬌。愛嬌は弁明の利器って、僕の引き出しにはなかった言葉だからさ。こう、彼女と一緒にいるだけで、新しい自分に出会えたきがするよね、うん

ハエの音がする。今までで一番うるさい。

カミ ぶんぶんぶんうるせえな

ジョ え？

カミ うるさいんだよおおあああああ

ジョ お、おい、トナカミ！

メロ (はけ口から) ジョージ、資料見つかったよ！

ジョ あ、うん…

ジョージ、メロの方にいつてしまう。トナカミ、オフィスから出ていく。レミナが本を読みながら現れる。

レミ かたつの、へんかくのトナカイは、怒り狂って檻から脱走してしまいました。しかし、片角のトナカイに、いたいなができるというのでしょうか。今更、北欧の崖の上の群れに戻れもしない。戻りたくもない。そんなトナカイに残されたものと言えは…

レミナ、本を閉じる。トナカミが現れ、レミナとふたり、マツチを擦る。
トナナコおばちゃんとママがやってくる。トナカミとレミナ、膝枕をしてもらう。

カミ おばあちゃん…トナナコおばあちゃん

ナコ どうしたんだい

カミ なんだか、裏切られた気分になっちゃうんだ。変だよ。変だよ。

ナコ 裏切られたって？だれに？

カミ いや、裏切ってなんかないんだ。トナジョージ君は別にそんなつもりも全くないんだ。そりゃそうだよね。誰も付き合っちゃいけないなんていつてないし、絶対付き合わないともいつてなかったし

ナコ そうだねえ

カミ だから、僕が勝手に、がっかりしてるだけなんだ。親友だと、思ってたから

ナコ そうかい

カミ もういやだよ。あそこにいたくない。だれとも、話したくない。

レミ ママ、ママ

ママ なあに？

レミ ママは、なんで帰ってこないの！？

ママ 会社の、つごう、なの

レミ つごう。つごう、つごう。パパとおんなじこと、言ってる

ママ パパじゃだめなの？

レミ パパは…やさしいけど、でも、お料理もレンジでチンだし、本読むの下手だもん。ママ、ママがいい。

ママ レミナ

レミ わたし、サンタさんに頼んだの。今年のクリスマスは、ママがいいって。
ママ そうなの？
レミ そう！だから、ママがどんなに、その、「つづー」でも、ママに会えるって…
サンタさんに…言っただけど…
ママ そう。じゃあ、その日はきつと会えるわね
レミ ほんと！？
ママ だって、サンタさんに頼んだんでしょ。そしたら、ママも電気信号に乗って、配達されちゃうわよ
レミ 嬉しい。ママに、ほんとに会えるんだ…。早く会いたいよ。それでずっと、レミナのところにいてほしいよ。

パパが現れる。電話でママと話している。

パパ だからさ、それは勝手すぎないかって言ってるの。普通にニホンにいたら、月一回は面会してるはずだろ？うん、うん。いや、そういうことを言いたいんじゃない。レミナに対して誠意を見せてほしいってことだよ。
きみは、俺たちがどうなるうと、あの子の母親なんだよ。頼むからさ…。考えといて。こっちに帰るの、考えといてよ

トナカミや

カミ なあに

ナコ そんなにつらいなら、禁猟区に行ったらどうだい

カミ えっ、なに、きん…？？

ナコ ……

カミ あ、おばあちゃん、おばあちゃん！

火が消える。トナナコおばあちゃんもママも消えている。

カミ おばあちゃん…

もう一本擦ろうとするが、箱にはもうマツチが残っていない。

レミ ない

カミ ない

二人 マツチ、マツチはありませんか？この脳の電気信号を、ともしびに変える優れものです！

【8】 少女との再会

森の奥の少女の工房。トナカミが少女を訪ねる。

少女 トナカミ君！

カミ ……

少女 久しぶり…。あ、いま、お茶入れるわね。よかった。私、あなたにお礼が言いたかったの。あのマツチね…

カミ マッチ！マッチちょうだい！
少女 え？

カミ 5箱…いや、10箱！！

少女 いいけど・・・もう使い終わったの？

カミ そうだよ、もうないんだよ。だから！ねえ！！

少女 え、ええ・・・ちよつと、待ってて・・・

少女、マッチを何箱か持ってくる。トナカミ、マッチを擦る。
おばあちゃんの姿が浮かぶ。

カミ おばあちゃん。会いに来たよ。ね、もつと話そう

少女 トナカミ君・・・すこしやせた？

カミ おばあちゃん。僕わかるよ。キヨシは、この世界は僕のいるべき場所じゃない。

でも、そしたらどこが僕のいるべき場所なんだって・・・僕はいつたいたいなんなんだって・・・僕わからないよ！

少女、トナカミのマッチを消す。

カミ なにするの！？

少女 ごめんなさい。でも、ちよつと怖くて

カミ なにが？

少女 なにがって、はつきりは言えないんだけど・・・

トナカミ、2本目を擦ろうと擦るが、少女が再び止めに入る。

カミ だから何で止めるの！？

少女 一日に何本も火をつけるのはよくないわ

カミ そんなの聞いてないよ。僕のお金で買ったんだ、どうやって使おうが自由ですよ！？

少女 たしかに、あなたには何も言わなかったけど…。

安全に、使ってねって言うようにしてるの。ちゃんと、街で売るようになってからは・・・

カミ 安全だよ。世界一安全な火遊びだよ

少女 火遊び、安全じゃないわ！

カミ わかった。あれでしょ。現実を見ろって、そういうありきたりなお説教？
少女 そんなじゃない！わかった。いいわ。もう一本だけ擦りましょう。

少女、マッチを擦る。

少女 質問。ここは、どこ？

カミ あれ・・・？

少女 あなたの、目の前にいるのは誰？

カミ きみ

少女 あなたがには何が見える？

カミ きみがいて、僕がいる・・・現実？

少女　いいえ。現実じゃないわ

海中の音がする。

カミ　この音・・・

少女　わたし、いま、あなたが何を思い描いているのかはわからない。でも、あなたの脳のキャンバスに、わたしと、あなた、そしてあなたがそこからイメージしたことがペイントされていくのはわかるわ

カミ　きみ・・・やっぱり、あの時の・・・

少女　世界はみんなの想像の産物。あなたがわたしを見て、想像して、わたしが、あなたをみて想像する。世界というのはそういうもの、世界で生きてゆくというのは、そういうこと・・・わたしは、そう思うの

カミ　うん・・・

少女　もう一度聞くわね。あなたの、目の前にいるのは誰？

カミ　きみ

少女　あなだには何が見える？

カミ　なつの、きみ

少女　あなたには、何が見える？あなたには、何が見える？あなたには、何が見える・・・

不協和音。少女、観客に問いかける。マッチの火が消える。

少女　落ち着いた？

カミ　・・・うん。

少女　想像すること。それは素晴らしいこと。現実じゃない場所にいくことも、時にはとても大切なこと。癒しという薬になるから

カミ　うん

少女　でも気を付けて。薬の用法、間違えると大変なことになるわ。用法容量、きちんと守って

カミ　わかった・・・守る。君がそういうんなら

少女　お茶、飲んでかない？美味しい紅茶の葉が手に入ったんだけど・・・

カミ　せっかくだけど、ごめん、もう行くよ。やらなきゃいけない・・・僕の、タスクがあるから

少女　そう。わかった、街の方まで送るわ

カミ　ありがとう

少女　お仕事のこと、一度ゆっくり聞かせて

カミ　うん、マッチのことも、次会うときに、ね。

少女　ええ、必ず。それまで、このストレス社会を共に生き抜きましょう

カミ　うん！

トナカミ、少女、去る。

【9】トナメロの合コンと謎の実業家

合コン会場。おしゃれなダイニング&バー。片側の席には女性陣が席についている。

店員 お待たせしました、こちらアヒージョになります

女性陣 アヒージョ！

店員 こちらチーズの盛り合わせ

女性陣 チーズ！

店員 それではごゆっくりどうぞ

女性陣 美味しそーう！！あつ、ダメダメ、ちょっと待って

女性陣、インスタ用のごはん写真を撮りまくる。ものすごい連写の音。

メロ じゃ、みなさんと出会えたこのカツに、カンパーイ！

全員 カンパーイ！

女1 ねえ、ちよつといいの？あんた彼氏いるじゃん

メロ だって呼ばれちゃったんだもん。友達が誰か来てって困ってたら、行くじゃん？

女2 あんたねえ

メロ それにメロ、恋活・婚活、活大好きだし！もう来ちゃったんだから、とことん楽

しもう、みたいな？

女1 こういうところが、憎めないのよねえ

女2 腹立つけど、愛嬌、最強だわ

メロ え？連絡先？ごめんなさーい。わたし、今愛しちやつてる人、い・る・の・で：

女2 あーっ、きたきた！

青年実業家が登場する。

青年 どうも。青年実業家です

女1 おそいよー！アヒージョ冷めちゃうじゃん

青年 すみません。（聖書を読んでいたらタクシーに乗り遅れました、等意味不明な理由）

メロ え、だれだれ、超スベック高そう

青年 スタンフォード大学でMBAを取得しています。同期はビルゲイツです

女2 超頭いいじゃん

メロ お名前は？

青年 青年実業家です

メロ 実業家さん！はじめまして、キヨシ・コノ・コーポレーションのトナメロです

青年 キヨシ

メロ はい、やすしきよしの、キヨシです

青年 クリスマスの

メロ はい

女1 メロ、この人も、クリスマスっぽい仕事してるんだって

メロ なんの会社？

青年 マッチ、マッチはいりませんか？マッチ一本火事のもと。マッチ百本、大火事の

もと。ベンチャー企業「マッチ売りの淑女」です

女性陣が、キヨシの社員に変わっている。拍手が起こる。

部長 なるほど、なるほど。あえての、火事のもと、ですか

青年 はーい。我が社、「マッチ売りの淑女」では、自社製品をあえてサゲ

ることにより、その話題性で商品の認知拡大を図る、という炎上商法をとっているのです。マッチだけに

ジョ うん。面白いと思います、広告戦略として。しかし、なぜウチに？

青年 はーい。先ほどの戦略で順調に利益をあげてきたわけなのですが、このところ、このトキヨ都内にて、マッチを移動販売している輩がいるようで

部長 同業者というわけですね

青年 はーい。これがまた口コミでずいぶんマッチを売り上げてまして。わが社としてもこのまま指をくわえて見ているわけにはいきません

部長 なるほど

青年 そこで、ぜひ、クリスマス事業で有名な御社の力をお貸し願いたいわけですが

部長 いやー、御社のような新進気鋭のベンチャー企業からのお話、大変ありがたいことだとは思いますが、ちょっと今は・・・

青年 いまはー？

部長 今は・・・なんといえますか

ジョ いろいろとたてこんでおります・・・

部長 今すぐには、ちよつと・・・申し訳ございません

青年 はーい。わかりましたー。では新商品の「聖火のマッチ」の使用権は他社に譲ります

部長 聖火の、マッチ？

青年 はーい。この聖火のマッチは、巷で流行りの「想像のマッチ」の機能を網羅しているのはもちろん、さらに。さらにー、このように、遠隔操作で火をつけることができるのです

青年、
実演してみせる。

部長 なるほど・・・なるほどなるほど。よし、御社と契約しましょう

ジョ しかし部長、プライオリティとしては、こちらの新規事業は後回しでしょう。

あと3日でベルの音……

部長 んんんんー！！だからそだ。いいか？いいか？もう音は自力では見つからんし、ほかの企業も望み薄だ。俺はこのクラッチバック野郎に賭ける。こいつとプロジェクトが盛り上がりれば、「新しいクリスマス」を提供できるかもしれない新しい：クリスマス？

部長 そうだよ。マッチのクリスマスだ。わかるか？この一億総イルミネーション時代のクリスマスに、あえてアナログなやり方で街にクリスマスを呼び起こすんだよ。いつものイルミネーションと混じりあって、古き良きクリスマス。ほんのりとしびのクリスマス。わび、さび。

ジョ どうだ。したら、このハンドベル部は命拾いどころか評判天井ぶちぬきだし

ジョ かしそうになると、もうそれはハンドベル部ではないのでは……

部長 とにかく！！このまま契約を進めるぞ。おれは粘るぞ。なんとしてもクリスマス

ジョ を無事遂行するんだ！という形であれな！！！！

ジョ わかりました

部長 いやあ、すみません。少しばかり込み入った話をしてまして。

青年 是非、弊社がお力添えしたいと思っております

はーい。よかったです。ペーニャの御心に従って正解でした

二人 ペーニヤ？

青年 ペーニヤです。ハロルド・ペーニヤ。わたしが尊敬してやまない実業

家です。ペーニヤの言葉にしたがつてきたおかげで、私も事業もここまで拡大することができました

部長 ほお・・・

青年 みなさんもぜひ、ペーニヤの言葉に触れてみてください（布教）

実業家、ペーニヤの著書を社員たちに配る。

青年 それでは、また次回打ち合わせまで

部長 よろしくお願いします。ああ、お送りいたします

部長とトナジョージ、去る。ペーニヤの本を置いていく。

トナカミ、会社に戻ってくる。

カミ 失礼します・・・ジョージ君・・・あれ？

トナカミ、ペーニヤの著書を見つけ、ページをパラパラとめくる。

カミ 自由と解放の：禁猟区。：あれ、禁猟区って・・・

（本をめくって）生きとし生けるすべてのものには、禁猟区が存在する。

ペーニヤの言葉に従うのです。さすればあなたは電気信号に誘われ、禁猟区にたどりつくことができるでしょう。

禁猟区って、あれだ。おばあちゃんの言ってたやつだ！

・・・でもなんなんだろう・・・禁猟区って・・・

【10】口は災いのもと

雰囲気のあるバーにて、トナメロと青年実業家。ダンスをして、ワイングラスを合わせる。ワインを堪能する。

メロ やばーい、超芳醇

青年 よろこんでいただけでよかったです

メロ あ、で、さっきの話だけど、フェラーリ持つてるってホント？

青年 はい。フェラーリ、キャデラック、ランボルギーニ、ひと通りコレクションしています

メロ すごーい！

青年 はい。すごいです。他にも、ジュエリー、絵画、世界中の嗜好品を収集しています
メロ すごーい！すごいもの、たくさん持つてるんですね

青年 はい。たくさん、集めるの、好きです。集めて、コレクションするのが、好きです

メロ えー、すごーい。じゃあじゃあ、そのコレクション見せてください！

沈黙。

青年 いいえー。それは無理です
メロ えっ、なんでなんで？？

青年 ペーニャの言葉でいえば、それは電気信号に誘われた先にあるものです
メロ 電気信号？

青年 はい。ペーニャは言いました。この世界の行先は、ただひとつだけ。

私のコレクションも、そこにしまっておりま

メロ 世界の、行先？

青年 とても美しくあらせられる世界です

メロ インスタ映えとかする？？

青年 します

メロ するんだ！え、そこ行きたい！インスタ映えするスポット行つて、癒されたい！

青年 お疲れなんですか？

メロ お疲れお疲れ、超お疲れ。残業ばっかりだし。いくら会社が大変な時

だからってさ……

青年 大変なんですか？会社

メロ あっ……。今の、内緒ね

青年 気になります。大変なこと

メロ まあ、いろいろあるの、ウチも

青年 なにが大変なんですか？ねえ、ねえ

メロ ……うーん……

青年 ねえねえねえねえねえ

メロ もう、しつこい！メロしつこい男は嫌いな！帰る！

メロ、帰ろうとするがドアが開かない。

メロ えっ、あれ、ドアが開かない！

青年、ワイングラスを素手で砕く。

青年 おしえろよ

メロ え？

青年 おしえろよ、アバズレ。教えないと今すぐお前を……（グラス砕いて砂状にする）。

メロ もしかして……いま、メロ、恐喝されてる？？

青年 はい。恐喝してます

メロ 恐喝、メロ、初めて恐、カツ、されたかも

青年 はい。それは初めてのカツ、喝体験。ゆだねるのです。ペーニャの魂にゆだねて

話すのです

メロ ゆだねます。喝体験に身をゆだねます。（手を胸の前で組んで）実は、うちの会社で……

12月22日。ところ変わってキヨシの会社前。市民たちが押し掛けてくる。

市民 ななななななな、なんだってー！？

民1 どういうことだよ、クリスマスが来ないって！！

民2 そりゃつまり、全部まっくらってことか！？

民3 こんな寒波の時期に電気なしで暮らさせてか!?

民4 電気ストーブくらいはつくんだよな!?

民1 うちの店の冷凍庫だけは頼むよ。売り物の七面鳥がだめになっちゃう

民2 死人がでたらどうすんだ!!

市民 どうすんだ!どうすんだったら、どうすんだ!!

市民がいなくなり、舞台はオフィス内が変わっている。

社員、外の様子を確認する。

部長 あああああああ

ジョ 部長、落ち着いてください

部長 なぜだ。あれほと言っておいたのになぜ、しゃべりやがった!?

メロ だって、あんなカツ体験、初体験だし

部長 クリスマスはもう明後日だ!まだ音が見つかってないこの時によりにもよって!

メロ でも大事なやつて、愛嬌とアクションでしょ?

起こっちゃったことは仕方ないんだから、これからどう動くか、それが大事、ね?

部長 クビだ

二人 えっ!?

部長 そりやそうだろうが。会社の機密事項を社外のやつにしゃべるなど言語道断!!

ジョ そんな

メロ ジョージと離れちゃう

部長 それに前から貴様のそのアバズレな愛嬌には危うさを感じていたところだ

ジョ 待つてください、トナカミの時は、取り消してくださいじゃないですか!

部長 機密がばれないようにだ!ばれちゃったんだよ、今は!

ジョ しかし・・・

部長 恋人だからとかばうのは見苦しいぞジョージ君

ジョ えっ……

部長 隠していたつもりかそれで。バレバレだ。君の口からついて出てきたタメロが、

近頃うんと耳障りだな

ジョ ……

部長 なにが愛嬌だ。愛嬌で物事うまくいくなら私がサーカスにいた時だって何もかもうまくいってんだよ!なんたって俺は笑顔はチャーミングだからな!愛嬌は文明の利器なんかじゃない。「弁」明の利器だよ!

部長、 猟銃を構える。

ジョ 部長

部長 ほら、お前の大好きなカツだよ。入れちゃってやるよ。ぶちよかつ、入れちゃってやるからよ!

メロ いや!ジョージ!

部長、 トナメロを撃つ。トナメロ、撃たれて会社を飛び出す。本物のトナカイのように。

ジョ メロー……!!

部長 またひとりゆとりを狩ってしまった。君にもいい経験だろう。気を抜いていると、

足元すくわれるぞ。この世は弱肉強食だ！俺の様に地べたはいずりまわって反骨精神鍛えなおしなさい

カミ
・ ・ ・ ・ ・

部長
（トナカミに）おーい、社長出勤。貴様、今日が何日かわかってるよな？

カミ
二十二日です

部長
明後日だ！明後日の夜、鳴らさなきゃいけないんだよ、これをよ！

どうした、音はどうした。え？

カミ
まだ ・ ・ ・ ・

部長
もうなんでもいいよ。頼むよ。後生だから見つけてきてよ。ねえ。俺がクビになっちまうよ。そしたら終わりだよ。朝昼夜干し草三食から、ここまで頑張ってきた俺の15年が台無しだよ。もどりたくないよ。もう鞭でパンパンは嫌だよ。

頼むよ。頼んでんだよ！！

カミ
はい！

トナカミ、トナジョージを連れてエレベーターに飛び乗る。

カミ
・ ・ ・ ・ ・
ジョージ君

ジョ
・ ・ ・ ・ ・

カミ
・ ・ ・ ・ ・あの、この前は ・ ・ ・

ジョ
きみの言うとおりであったよ。社内恋愛、するもんじゃないね

カミ
・ ・ ・ ・ ・

ジョ
なんだか、裏切られた気分になっちゃうんだ。変だよ。変だよ。

いや、裏切ってなんかいないんだ。メロは別にそんなつもりも全くない

んだ。そりやそうだよ。誰もコンパ行くなともいつてなかったし

カミ
・ ・ ・ ・ ・

ジョ
だから、僕が勝手に、がっかりしてるだけなんだ。

なんでも分かり合ってると思ってたから

カミ
そう

ジョ
もういやだよ。あそこにいたくない。だれとも、話したくない。

カミ
・ ・ ・ ・ ・

ジョ
はは、ごめん、なんか、スマートじゃないとこ見せちゃったね

カミ
いいよ ・ ・ ・ まあ、同期、だし ・ ・ ・

ジョ
・ ・ ・ ありがとう。

エレベーターの到着音とアナウンス。

ジョ
部長になんか言われたら、資料室にいらって言っというて

カミ
あ ・ ・ ・ ・ ・

トナカミ、ジョージの後をついていこうとする。エレベーターが閉まりそうなところに、実業家が乗り込んでくる。トナカミもエレベーターの中に戻る。

二人
青年
それは、WEARE PENYAではないですか？

カミ え、あ、はい

青年 やはり。ペーニヤの言葉は普及しつつある

カミ あなた、この本のこと知ってるんですか！？

青年 はい。知っています。ペーニヤのことなら、なんでも知っています

カミ 教えてください！この！この、本の、このページに書かれてる、「禁猟区」という

カミ のは、なんなんですか！？

青年 ・・・・わたしが教える人は、真に信仰心のある者のみ。汝は真にペーニヤを信仰して

カミ いますか？

カミ はい。信じています。ペーニヤを、信じています。だから・・・

青年 はい。信じています。ペーニヤを、信じています。だから・・・ WE ARE PENYA 143ページ。生きとし生けるす

カミ べてのものには・・・

カミ 禁猟区が存在する。

青年 そこは狩りを禁じられた場所。猟銃の弾のような痛みを、永遠に感じずに済む場所

カミ そこに行ったら・・・いつも受けているあの痛みのこと、ジョージ君のこと、いろんな、

青年 いろんな痛みを、全部なかったことにできるんですが？

青年 はい。できます

カミ 行きたい。どこにあるんですか？ねえ、どこにあるの！？その、禁猟区は！

青年 ペーニヤの言葉に従うのです。さすればあなたは電気信号に誘われ（マツチ渡す）、

二人 禁猟区にたどりつくことができるでしょう。

エレベータの到着音。舞台はトナカミたちベル部のいるデスクに変わっている。部長がやってくる。

カミ 部長

部長 あ？なんだ

カミ お話があります

部長 話？まさかまだ音の見当もついてねえとかいうんじゃないかな

カミ 会社を辞めさせていただきます

部長 は？

カミ 今日付けで、退職します

部長 出たよ出たよ。ゆとりがよ。まったく、うちのやつにまともなのはいねえのか。

カミ アバズレと、そのアバズレに骨抜きのお坊ちゃん、ゆとりポンコツが。

カミ 反骨精神鍛えろとあれほど言っただけじゃねえか！

トナカミのまわりでハエのおとがぶんぶん鳴っている。

マツチをつけて、部長の方に近づける。

部長 ひい！

カミ 退職させてください

部長 脅したって無駄だよ。今のはあれだ、本能だよ。トナカイの、本能で・・・

いまいちど火を近づける

部長 やめなさいよ！火の輪くぐりはもうごめんだよ！あれが、あれが一番できなか

つたんだよ。何度も何度も火傷してよお。団長が、「火が怖いって、だからトナカイは嫌なんだよ、この馬のなりそこないが」って、鞭でパンパン打ってくんだよ。でもよ、動物なら誰だって火怖いよ。それが輪っかになってんだよ。怖さ100倍増しだよ。お前だって、わかんたら。俺とおなじ、ポンコツだから、わかんたら！！！！

少女がオフィスにやつてくる。

少女 すみません・・・営業部を探してるんですが・・・トナカミくん！
カミ え

少女 あなた、キヨシの・・・（マツチに気づいて）火を消して！！

カミ いやだ！

部長 はああああ

部長、退散する。

カミ ねえ、見える？フルスクリーンで、見える？？

少女 見えないわ！あなたの想像は見えないの！

カミ そうだった。君にはみえないのか・・・残念だなあ

少女 いいから早く消して！それは人に向けるものではないわ！！

カミ めらめら燃える火の先に、道が見えるよ。もっと目を凝らすと・・・見たことない景色・・・禁猟区だ。自由と解放の禁猟区だ！！

少女 どうして？前会ったときは、ちゃんとわかってくれたじゃない！

カミ やっぱりだめだよ。僕は、このストレス社会には耐えられないよ！もう今日でこんな会社、無理にでもやめてやる！！！！

少女 だからって、私のマツチ、そんな風に使わないでよ・・・

カミ ・・・

少女 あなた、言ってたじゃない。サンタさんに会いたいわ。そのために、やらなきゃいけない、タスクがあるんじゃないの？

カミ そんなの僕じゃなくてもできるよ！

マツチの火が消える。

カミ こんなところはダメだ。ダメなんだ。僕のいるべきところじゃない。ここで生きることはつらい

少女 生きるのがつらいのはみんな同じよ

カミ そうだよ、みんな同じだよ。みんな、いちいちこの世界で傷ついて、傷つけて・・・

それが社会の荒波だっていうんなら、波強すぎるよ。

少女 ・・・

カミ 君、教えてくれたじゃない

少女 なに？

カミ 想像すること、それはすばらしいこと。

目を閉じて、覗いてごらん。目を閉じないと覗けない・・・

少女 そんなことない！想像は、目を閉じようが開こうが見える世界。

あなたが閉じてるのは心だわ！

カミ そうだよ。でもそれが想像の特権だよ。心を閉じて、ひとりになれる。

少女 誰にも踏み入れられない、夢見る禁猟区・・・想像力の賜物だ

少女 なんて不幸な想像力なの・・・

カミ 不幸？それはペーニヤの言葉を侮辱してるよ

少女 言ったでしょう？この世界は想像でできている。

でもその想像は、あなたがいて、わたしがいて、構築された・・・いま、ここ、新宿区よ。ひとりじゃない、対話した想像・・・

カミ もう！ぶんぶんぶんぶんうるさいな！！とにかく僕は禁猟区に行く！

皆様、短い間でしたがお世話になりました！ますますのご健勝をお祈りしております！

少女 トナカミくん！！

トナカミ、飛び出していく。

【11】それぞれのクリスマスに向けて

舞台は再びキヨシのオフィスの前に変わる。

少女が一人立ち尽くしている。パパがキヨシに文句を言いに来る。

パパ どうすんだ、どうすんだったら、どうすんだ！

街頭ニュースが流れる。

コメ それでは次のニュースです。中小企業、キヨシ・コノ・コーポレーションの不幸事

に、大きな波紋がひろがっています。ベルの音の漏洩問題は、トキヨ都民、いや、

全世界のクリスマスに、経済的な影響を及ぼすと言われており・・・

少女・・・なにがクリスマスよ。ほんとうに、なにが・・・（泣き出す）

パパ 大丈夫？・・・クリスマス、嫌いなもの？

少女 嫌いよ。クリスマスなんか大嫌い

パパ・・・

少女 だけど、変ね、変だわ

パパ 変？

少女 嫌いなものに、クリスマスが来てほしいって、そう思うの。今は・・・

パパ そうか・・・おじさん、事情はよくわかんないけど・・・

それはきつと、だれかのために、来てほしいってことじゃないかな

少女・・・

舞台後ろがレミナのおうちになる。電話の音が鳴り、レミナが電話を取る。

レミ はい、レミナです。ママ！うん、いま、パパいないけど・・・え？

舞台手前。ジョージが現れる。オフィスの中。

ジョ 部長、このウィー・アー・ペーニヤ、読まないなら捨てますよ。
・・・いない

ジョージ、ペーニヤの著書をパラパラめくる。

ジョ　なんだこれ。なにも書いてないじゃないか

ところ変わって、レミナとパパのおうち。パパが帰ってくる。

パパ　あー、さむい、さむい。ただいまー

レミ　・・・・・

パパ　ごめん遅くなって・・・パパ、キヨシの会社、行ってきたから。
いま、ちゃんとクリスマスが来るように、キヨシもいろいろやってるんだってさ。
だから・・・

レミ　もういいよ。クリスマスなんか来なくて

パパ　ちよつと、レミナまでそんなこと・・・

レミ　ママ、帰れないってさ

パパ　え・・・

レミ　それから、もう「りこん」したんだからパパは電話かけてこないでって
パパ　！

レミ　りこんって、けっこんしたひとが、けっこんをやめることでしょ？家族じゃなくな
るってことでしょ？ママじゃなくなるって、そういうことでしょ？？

パパ　そんなことないよ・・・

レミ　わたし、ママに会ってくる

パパ　え？

レミ　フロリダに行く

パパ　無理だよレミナ

レミ　無理じゃないもん！！会えるもん！

レミナ、家を飛び出す。

パパ　レミナ！

パパ、レミナを追いかける。

【12】永遠に消えることのないマッチ

ついにクリスマス当日、12月24日の夜。会社にたくさんひとが集まっている。テレビの中継
なども入っている。

部長

えー、報道各社のみなさま！お忙しいところお集まりいただき誠にありがとうございますお
さいます。このたびは、大変、大変お騒がせいたしました。

巷ではね、「今年は大停電が起こる」だの、「プレゼントは届かない」だの、さま
ざまな情報が錯綜していたようですが、そんなことはもう決して、決して　なく。
むしろ新しいクリスマスをご覧にいれようと、準備をしていたわけなのですよ。
ご紹介しましょう。わが社の新しいビジネスパートナーです。

実業家 マッチ、マッチはいりませんか？マッチ一本火事のもと。マッチ百本、大火事のもと。ベンチャー企業「マッチ売りの淑女」です

部長 彼の売り出す新製品「聖火のマッチ」とわがキヨシ・コノ・コーポレーションのスペシャルコラボで、新しいクリスマスを呼び覚ましてようぞ！

実業家 はーい。ベルの音は、失われてなどいないのです。マッチのとしびをベルに宿すのです。さすればそれは、クリスマスを呼ぶ電気信号となるのです

部長 それでは、お待たせいたしました。トーキョー・トキョ都民の皆様、やすしやすしの聖なる夜へ！耳の穴かっぽじってご清聴くださいませ！

実業家 やすしこの夜

ベルの演奏が始まる。最後の音で、実業家が火をつける。歓声が上がる。外ではイルミネーションが飛び交っている。キヨシの会社のリクエスト部、配達部の社員が連絡を取り合う音がする。

リク メリ・クリスマス！こちらリクエスト部！

配達 メリ・クリスマス！こちら配達部！見えました。北の、〰時の方向に光が！

リク イルミネーションの電気信号か！

配達 はい！

イル1 熱い！熱いよ！！

イル2 馬鹿、てめえ青のくせに焦ってんじやねえ

イル1 青のくせになんだよ！

イル2 青は冷静の色だろうが！ミッドナイトブルーだろうが！

イル1 うるせえ！お前だって、赤のくせに熱がつてんじやねえ

リク 色は？赤か？青か？

配達 両方です。他にも、南南西の方向に・・・

リク 二色か！ならば左に進路をとれ！プレゼントの配達先はその先だ！

配達 エマージェンシー、エマージェンシー！

リク どうした！

配達 イルミネーションのほかに、マッチのとしびが見えます！

リク マッチ！？

配達 それもたくさん！！エマージェンシー！進路、とれません！しかもイルミネーションが

配達 配列に異常をきたしています！

リク どういうことだ！

イル2 熱い！熱いよ！ 誰か助けてよ！

イル1 変だよ！こんな熱いのは初めてだ！！

イル3 おたくら、動かないでよ。電気信号、動いちやいけない、動かずにチカチカ光つ

イル2 てなきやいけないんだよ！

イル2 そういう緑が一番飛び跳ねてんじやねえか

イルミ だめだ、あつい、あついよ！！

配達 動いている。動いてるんです！イルミネーションの電気信号が、あっち

へいつたり、こっちへ行ったり・・・あ、まずい、そっちは・・・！

エマージェンシー！あーーーーっ！

イルミネーションの飛来音。ガラスの割れる音がする。

部長 な、んだ！どうした！

ジョ　森の向こうが・・・燃えてます！

森の奥がメラメラと燃えている。

ジョ　部長、もしかしてさっきのベルが・・・

部長　あー、えーつと、み、みなさま、落ち着いて！・・・これ、あれですから！打ち上げ花火的なあれですから！ね！ね！

イルミネーションの飛来音。ガラスの割れる音。人々が逃げ惑う声、悲鳴。

メロ　これは単なる山火事じゃないもん！！

ジョ　メロ！

部長　アバズレ！

メロ　みんな、キヨシのベルがおかしいんだもん！！メロ、見たの。メロが住んでる森の奥にも、こんな風にイルミネーションが飛んできたの！鳴らすのは「音」。マッチの「火」は鳴らしちゃだめって相場がきまってんだもん！

部長　噛みつきやがったな！野生のトナカイめ！

メロ　あの森は、メロの大好きな、インスタ映えスポットだったのに・・・

部長　マスコミのみなさん！これはキヨシの責任なの、キャッ（愛嬌）
ちよつと！内部告発はやめなさいよ！

会場が騒ぎになる。

部長　あああああ、もう、めちやくちゃだ！！

ジョ　部長！騒いだってしかたないですよ！あれは僕たちキヨシの責任です！
とにかくすぐに消火活動を！！

部長、ジョージ、メロ、会社から脱出する。実業家のみ、残る。

実業家　美しい。永遠のマッチの火は、やはり美しい。

ペーニヤの言葉に間違いはなかった。禁猟区はすぐそこです。

祈りの時間です。脳内のサンクチュアリに祈りをささげるのです

トナカミが現れる。

カミ　目を閉じて、のぞいてごらん・・・

舞台上が禁猟区の空間になる。想像の産物たちが次々と出現する。

像1　あなたの思考の旅路の果てに・・・

全員　おいでやす、夢見る禁猟区へ！！

ダンスダンスレボリューション風の音楽。部長や社員たちが現れる。

部長　トナカミー！！！！喝！！

社員たち、トナカミを銃で撃とうとするが、銃が暴発し、自分で自分を撃って倒れてしまう。トナカミ、それを見て爆笑している。

部長 くそ、お前みたいなやつは、（ピー）だ！！
社員 え？

部長 お、おまえなんか（ピー）だ
カミ あはは！

メロ なにこれ、もう、トナカミ先輩は（ピー）ですよ！

ジョ トナカミ、僕は（ピー）だ

カミ なに？なんて？聞こえない！

メロ もう、トナカミ先輩の（ピー）！（ピー！）

ジョ トナカミ、（ピー）！（ピー）！

部長 許さん！（ピー）！（ピー）！

カミ 聞こえない、聞こえない！傷つく言葉はみーんな放送禁止！

突然音楽が変わり、日曜の朝のクラシックの時間が始まる。

想像の産物たちがクラシックに合わせて餅つきを始める。

餅つきが終わると、想像の産物の一人、シンガーソングライターMAIが弾き語りを始める。

そしてトナカミと一緒に歌い始めると、ふたたびダンスダンスレボリューション風の音楽に戻る。禁猟区の想像はめまぐるしく変化していく。

全員 自由と解放の禁猟区。自由と解放の禁猟区。自由と解放の禁猟区……（連呼）

最後はどことも想像のつかない世界になる。

カミ ああ、平和だなあ。とっても平和で、幸福な世界だ。

おかえり、僕。ただいま、禁猟区

ふたたびめらめらと炎が燃える。少女が飛び込んでくる。

少女 あっつ！！トナカミ君、ねえ、トナカミ君！！

像たち、しゃべり続けている。トナカミに少女の声はきこえない。少女、マッチを使って、禁猟区の火の中に入る。

少女 トナカミくん！！！！

像たち、少女に追いやられ逃げていく。

カミ きみ、やっぱりの時の……

少女 作ったの、新商品

カミ 新商品？

少女 そう、「マッチ119」。炎の外側と内側をつなぐ、救急治療のマッチ。
これであなたを助けにきたの

カミ 助ける？どういうこと？

少女 ここにいてはダメ。外の世界は大火事よ、このままでは火に飲まれて、

死んでしまうわ！

カミ 死んだっていい！！僕はいま、幸せだ！！

この禁猟区で一生暮らすって、決めたんだ

少女 ダメなの！！あなたの居場所はどこじゃない！！！違う場所にちゃんとあるはず

カミ なんて君にそんなことがわかるんだよ！

少女 だってあなたは変革の獣。自分の中に、変革を起こせる獣

カミ へんかくはへんかくでも、片角の方のへんかくだよ！

少女 いいえ、あなたは片角じゃないわ。片角なんかじゃないわ！！

禁猟区の炎の外では、家を飛び出したレミナが逃げ遅れ、街の外れの山の上に取り残されている。

レミ ママ、ママ・・・？あつい、あつい・・・パパ、パパ！

パパ レミナ！レミナ！！娘が・・・娘が！！

ジョ お父さん、落ち着いてください！

部長 ダメだ、火の勢いが強すぎる

メロ それにあんな崖の上・・・

ジョ 僕が上る

メロ えっ！？

部長 おいおい、これ以上社員を危険にさらすと私が・・・

ジョ いつまで自分の立場気にしてるんですか！

！

ジョ 僕たちの仕事は、クリスマスに幸福を届ける仕事です。目の前に不幸に見舞われた子が

いたら、助けるのもまた使命だ。だから今回は、僕を野放しにしてください

部長 ジョージ君・・・

ジョ メロ、君にも言うておく。君は僕を裏切ってなんかない。

メロ えっ？

ジョ 見てて。僕がいまから本物のアクションを見せる。アクションには、志がなきゃいけないだ

メロ え、ジョージ、どういうこと？メロ、よくわかんない！

ジョ わかんなくたっていいよ。ディスコミュニケーション、ほんとこいだよ！

メロ ジョ、ジョージ！

ジョージがレミナのいる山の崖を登り始める。下で、部長、メロ、パパが見守っている。

少女 ほら見て、あの人、きちんと、世界と対話してるわ。あなたも行かなきゃ

カミ 大げさだよ！なに対話だよ。もう、くるしいのはいやだよ・・・

少女 あなた、嘘ついてる。本当はそんな風に思っ

カミ ・・・

少女 質問。ここは、どこ？

カミ わかんない

少女 あなたの、目の前にいるのは誰？

カミ わかんない

少女 あなたがには何が見える？

カミ わかんない
少女 あなたには・・・
カミ もう、介入してこないで！！
少女 するわ。だってこれは、想像の産物
カミ 想像の産物だかたこそ、誰にも邪魔されたくないの！
少女 だったらどうしてわたしと話をしてくれるの？
カミ えっ・・・
少女 もうすこしよ。きつと、もう少しなのよ。頑張つて。頑張つて、トナカミくん
メロ ジョージ、これ以上はホントに危ないよ！
ジョ 大丈夫だ！トナカイたるもの、これくらいの崖に負けてちゃだめだよ
部長 さすが、さすがの反骨精神だ、ジョージ君！

強い風の音。トナジョージが強風にあおられ、崖から落ちそうになる。

ジョ あっ！！！！
三人 ジョージ！
少女 トナカミくん！
カミ ・・・・
少女 あなたがそれでいいというならいいの。でも、本当にいいの？あなたは、禁猟区で暮らすの？

いつものハエの音が鳴りはじめる。トナカミ、頭を抱える。

少女 この音
カミ えっ？
少女 昔、わたしにもよく聞こえたわ
カミ きみも、聞こえたの、この、ぶんぶん
少女 ええ。わたしも聞こえてた。あなたと、出会うまでは
ジョ くそ、もう・・・
メロ ジョージ！！
カミ ぶんぶんぶんぶんうるさいなあって。ずっと思ってたよ。これ、ストレスからくる幻聴だって思ってたよ。今、わかった。欲求の音だ。こころ通わせたい。誰かと繋がった世界を、目の前のスクリーンに映し出したい。そんな心の、ブザーだったんだ！！

大きなブザーがなる。ジョージが大きくバランスを崩す。

ジョ うわーーーーっ
トナカミが炎から飛び降りようとする。

カミ ジョージくん！！！！
少女 トナカミ君、危ない！！

少女、手をかざすと、一瞬閃光が走り、辺りが真っ暗になる。風の音だけが聞こえる。

カミ あれ？

明るくなると、トナカミに翼が生え、ジョージとレミナを抱えて空を飛んでいる。

ジョー トナカミ、きみ・・・

少女 できた・・・できた。力が使えたわ!!!

カミ 僕、なんか浮いてる！なんかよくわかんないけど浮いてる！

部長 そうか！ゆとりの「ゆ」の字はユニコーンの「ゆ」！

カミ はい！

ジョー トナカミ、崖に気を付けて降りよう！そのまま、ゆっくり・・・

トナカミ、地上に降りてくる。レミナがパパのところへ走っていく。

レミナ パパ！

パパ レミナ！

社員、拍手している。

ハッピーエンドムードの中、実業家が舞台奥に現れる。炎に包まれている。

メロ みんな、タンマ！

ジョー おい、あれ・・・

カミ 実業家さんだ・・・！

メロ 森の、もつともつと奥に、電気信号が・・・たくさん！

ジョー お父さん、ここは危険です。娘さんと安全な場所へ！

パパ、レミナ、安全な場所に避難する。トナカミ、実業家のところへ向かおうとする。

部長 おい、トナカミ！何する気だ！

ジョー あぶない！

カミ 大丈夫！ぼく、行ってくる！

トナカミ、新商品のマッチを使って実業家の炎の中に入る。入る。ジョージ達、追いかけるが実業家の炎に阻まれる。

カミ 実業家さん、実業家さん！！

青年 ・・・・

カミ すごい、フェラーリ、ランボルギーニ・・・

青年 我が神、ペーニャよ。懺悔します。私は外界の人間と会話してしまいました。

愚かなこと。大変おろかなことです。罰をお与えください

カミ 実業家さん、僕です。僕・・・

青年 はい。はい。それが罰なのですね。わかりました。

それでは、お言葉の通りに。クリスマスの、とっておきのコレクションを献上します。

青年実業家、箱を落とす。一瞬すべての音が消える。
トナカミにだけ、ひとつの音が聞こえている。

カミ　音だ。ベルの・・・音だ！！！！

炎が大きくなる。トナカミが音を追いかけまわす。

メロ　先輩！！早く！どうしたの！

ジョ　トナカミ、なにが起きてる！？

カミ　待って！音が・・・

部長　飲み込まれるぞ！！

トナカミ、すんでのところで音を捕まえ、箱に入れる。

カミ　やった！！

実業家、炎に飲み込まれていく。

青年

主よ、これが最後の対話となること、お許しください。

へんかくのトナカイ君。想像はすばらしい。自分だけの夢見る世界は素晴らしい。
君はいつか帰ってくる。必ず、こちらに帰ってくる。

そのとき、禁猟区は再び開かれる・・・・・・

カミ　・・・・・・

炎が消える。ジョージ達がトナカミを発見する。

ジョ　トナカミ！

カミ　あ・・・

部長　ゆとり！ひやひやさせるんじゃないよ！

カミ　すみません、でも、気づいたら動いてて、わーってなって・・・

メロ　まあ先輩、熱意はありますからね。先輩らしいというか

カミ　えっ？

部長　あ！！報道各社のみなさま待たせてたんだ！

ジョ　あつ、そうだ・・・やばいですよ。結局音見つかってないのに

カミ　あ、それなら・・・

部長　取りあえずなんて言い訳すりゃいいんだ・・・

メロ　まあ、火事は抑えたから、どさくさに紛れて延期しちゃえばいいんじゃないかな

いですか？？

部長　名案だ。名案だよ。メロ君きみ、ただのアバズレかとおもったら、そんなことも言える
ようになっただんじゃないか。やはり森に放つには惜しい人材だったな。

再雇用してやろう

メロ　えーっいいんですか？やったーまた世田谷に引っ越そう

ジョ　部長、延期して、もう一回、音探しましょう！！このタスクは部長の

タスクでもあるんですから！

わかつとるわかつとる、俺も探すぞ！なんたって、俺の人生がかかってるから

部長

な！！

カミ あ、あの・・・

ジョ じゃ、トナカミ、明日はちゃんと出勤しろよ

部長、ジョージ、メロ、帰っていく。

少女 自信はついた？一角獣さん

カミ あ、そうだ、僕、これ・・・

少女 クリスマス、プレゼント。わたしから、あなたに

カミ 君が、僕に？なんで・・・

少女 メリ・クリスマス

カミ えっ

少女 メリ・クリスマス

カミ きみ、もしかして・・・

少女 (内緒のポーズをして) やっとホントの力が使えるようになった。マッチのこと、いま、このこと、ぜんぶ、あなたのおかげ。ありがとう

カミ ・・・・

少女 よかった、やっと恩返しできた。あ、これは・・・？

カミ 探してた音

少女 やっとみつかったのね。

カミ 君が、渡して

少女 えっ？

カミ もう、会社には行けないよ。辞表出しちゃったし・・・

少女 でも・・・

カミ それに、ぼくなんかより、きみからのプレゼントの方が嬉しいよ

少女 だめよ。あなたが、自分で見つけたのよ

カミ ・・・・

少女 もしかして、まだ、迷ってるの？

カミ ・・・・

少女 わかったわ。私がこれを届けるから・・・あなたはゆっくり考えるといいわ。

カミ これから先、どちらの世界に向かうのか

カミ うん、考えるよ。ゆっくり、考える

少女、トナカミを抱きしめる。

少女 ひとつだけ、忘れないで。ハエの音が、鳴らなくなった、あの瞬間。あなたが欲した、

カミ あの瞬間のこと

カミ うん、忘れない。忘れないよ

少女 ・・・・

カミ じゃ、さよなら

少女 ・・・・また。またね、ユニコーンの君

少女、箱を持って、去っていく。

トナカミ、振り返って少女が去る方向を少し見つめるが、追いかけることはなく、別の方向へ去っていく。

【13】これがホントの演奏会

一月〆日。キヨシ・コノ・コーポレーションの社内。2週間遅れてしまったが、今日はハンドベルの演奏の日。ジョージ、メロ、部長が並んでいる。舞台の手前ではレミナとパパがテレビでキヨシの様子を見ている。

部長 えー、報道各社のみなさま！お忙しいところ、再びお集まりいただき誠にありが

とうございます。先日は、大変、大変お騒がせいたしました。もう大丈夫です。

レミ パパ、ママも見てるかな

パパ 見てるんじゃない？

レミ 来月楽しみだな、フロリダ

パパ 飛行機の時間ながいから、お菓子たくさん持っていくんだよ

部長 お待たせいたしました。トーキョー・トキヨ都民の皆様、やすしやす

しの聖なる夜へ！耳の穴かっぱじってご清聴くださいませ！

三人 やすしこの夜

演奏が始まる。最後の音のところに差し掛かると、トナカミが現れる。

レミナとパパが期待の目を向ける。社員みんなが道を開け、トナカミは舞台中央で思いっきりベルを振る。

・・・？

ベルから響くその音は、いったいどんな音なのか・・・？
観客がその音を聞く前に、劇の幕は下りてゆく。

おしまい